

いじめを生まない「行きたくなる学校づくり」の取組

塩竈市立第一中学校

○ 私たちの取組

お互いに感謝を伝え合い、信頼を築く、体温の宿るメッセージカード【POSSIBLE】

○ 取組の紹介

いじめを生まないキーワードは3つあります。『信頼』と『感謝』と『体温』です。お互いの信頼関係が成り立っていれば、いじめは生まれません。そのためには日頃から感謝を伝えることが大切です。私たちは【POSSIBLE】（ポッシブル）というメッセージカードを通して、感謝を伝え合い、信頼関係を構築しています。また、

「今日は授業で分からない問題を教えてくれてありがとう」や「掃除手伝ってくれてありがとう。今度は私が手伝うね！」など、心温まる「体温」を感じる一言を添えることにしています。私たちの学校では今まで 10000 枚以上の POSSIBLE が贈られています。



いじめを生まない「行きたくなる学校づくり」の取組

塩竈市立第一中学校

○ 私たちの取組

学校の中にまちをつくる【ふたばシティ】～行きたくなる学校『総選挙』～

○ 取組の紹介

今年の生徒会スローガンは「ふたば」です。∞（無限）の可能性があるという想いを込め、生徒会が中心となり学校の中に【ふたばシティ】というまちをつくりました。まちづくりを通して、自分の行動に責任を持つことを体感し、いじめを生まない学校をつくっていかうへと考えました。ふたばシティには「掲示板」「会議」「出版社」「塾」などに加え「投票所」があり、現在は「行きたくなる学校総選挙」を行っています。①自分たちで対話を繰り返し、ルールを決める学校、②将来につながる得意なことや好きなことを学べる学校、③ありがとうが絶えない学校、④努力が認められる学校の4つで選挙をしています。私たちが行きたくなる学校を話し合うことが効果的だと実感しました。



○私たちの取組

おしゃべりタイム

○取組の紹介

朝の会で30秒から1分間の間、「休日何をして過ごしたか」や「好きな給食は」といったお題についてクラスの人と楽しくおしゃべりをする取組です。隣の座席の人や前後の座席の人など、毎日ローテーションをして、コミュニケーションをとっています。

この取組によって、友達の意外な一面を知ることができたり、同じ考えをもつことができたりと、更に仲良くなることができました。また、今まで話すことのなかった人とも話をするようになりました。



(様式) いじめを生まない「行きたくなる学校づくり」の取組

塩竈市立第三中学校

○ 私たちの取組

三小三中朝の挨拶運動

○ 取組の紹介

私たちの学校では、校内で朝の挨拶運動を行っています。挨拶運動は、生徒会役員や専門委員長が朝、昇降口や校門に立ち、登校してくる生徒に対して挨拶をし、校内に挨拶の輪を広げることを目的とした活動です。

挨拶の輪を広げることによって生徒同士の「心の和」づくりを図っています。

また、塩竈市が行っている小中一貫教育の取組の一つとして、第三小学校にも月に一度出向き、挨拶の輪を広げています。第三小学生の代表児童と一緒に挨拶運動を行い、小中の交流を図っています。小学生と中学生の交流の場とすることで、小学生に中学生を身近に感じてもらい、中学校に入学する時の不安を少しでも払拭することを目指しています。

この取組で私たちは、いじめを生まない「行きたくなる学校づくり」を行っています。



第三小学校でのあいさつ運動の様子

(様式) いじめを生まない「行きたくなる学校づくり」の取組

塩竈市立玉川中学校

○ 私たちの取組

あいさつ運動

○ 取組の紹介

玉川中学校生徒会では、いじめを生まない「行きたくなる学校づくり」の取組として、あいさつ運動を実施しました。お互いに明るいあいさつを交わすことで、朝からさわやかな気持ちで学校生活を送ることができます。また、相手とコミュニケーションがしやすくなって仲間意識が高まり、学校全体で楽しい、行きたくなる学校づくりができると考えたからです。

朝の登校時間に合わせて、20分間、校門前であいさつ運動を行いました。生徒会執行部が中心となって、年間の計画を立て、委員会や部活動ごとに一週間交替で実施しました。

取組の効果は、①誰とでもあいさつができるようになり、友達と楽しそうに過ごしている生徒が増えている、②一緒に取り組む委員会、部活動の仲間との絆がさらに深まった、の2点です。来年度も続けていきたいと思えます。



(様式) いじめを生まない「行きたくなる学校づくり」の取組

塩竈市立玉川中学校

○ 私たちの取組

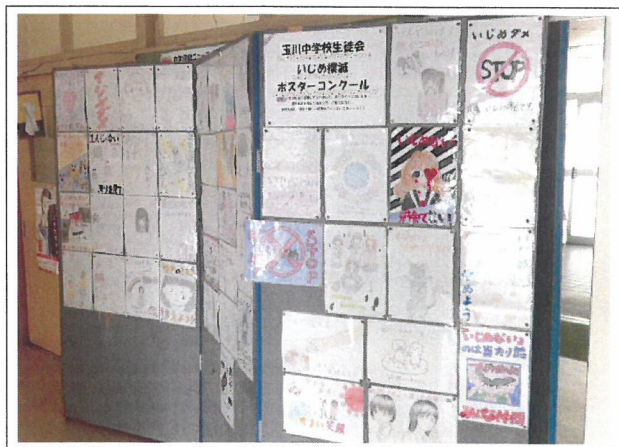
いじめ防止ポスターコンクール

○ 取組の紹介

玉川中学校生徒会ではいじめを生まない「行きたくなる学校づくり」の取組として、いじめ防止ポスターコンクールを実施しました。みんなが安心して学校生活を送れるように、「いじめは絶対許さない」という気持ちを全校生徒に持ってほしいと思い、企画しました。

ポスター制作の際には、アルカス☆塩釜☆いじめ撲滅スローガンである①いじめないのは当たり前！②相手の気持ちを考えてよう！③一人で悩まず誰かに相談しよう！④勇気をもっていじめを止めよう！を提示し、いじめについて真剣に考えてもらいました。全校生徒の作品を掲示し、さらに、生徒会執行部で優秀作品を選び、全校生徒に紹介しました。

取組の成果は①一人一人がいじめをなくすという意識を持つことができた、②普段はいじめについて話さないが、ポスターコンクールをきっかけとして友達と話すことができた、の2点でした。来年度も取り組んでいきたいと思えます。



いじめを生まない「行きたくなる学校づくり」の取組

塩竈市立浦戸小中学校

○ 私たちの取組

読み聞かせ運動

○ 取組の紹介

月1回程度朝に、中学生と小学校6年生で小学校対象に読み聞かせを行っています。前日の業間を使って各グループごとに読み聞かせ練習を行います。音読の順番を確認したり、ゲームや手遊びなどの活動を考えたりしています。

児童生徒会を中心に本選びと読み聞かせ練習時間を決定し、本選びの日にはクラスごとに呼びかけを行っています。

○ 取組の成果と課題（◎成果、△課題）

◎普段の中学校部と小学校部の交流を深める機会が少ないため、異学年を通じて仲良く会話をしながら進めることができました。

△呼びかけをしても読み聞かせ練習の日を忘れていた人がいました。十分に練習して実施できるように取り組んでいきたいと思えます。



○ 私たちの取組

ふれあいタイム

○ 取組の紹介

月1回程度、業前時間（8：20～8：30）に小中学生で遊びや学習の運営を行っています。ふれあい遊びは、縦割り班などのチーム対抗リレー、伝言ゲーム、ドッジボールなどの活動を行っています。

ふれあい学習は、小学校の先生が算数の問題を中学生に提示し、事前に解いてから小学生に教える活動を行っています。

○ 取組の成果と課題（◎成果，△課題）

◎毎時間の振り返りを児童生徒会で行うことで反省点などを改善していきながら運営を進めることができました。

◎ふれあい学習では、個別に中学校部の生徒が対応し、教えてもらうことでつまずきを解消し、苦手な課題を克服することにつながりました。

△ふれあい遊びでは、他学年同士で話し合い、交流する機会が少なかったようです。今後、交流を深められるような遊びの提案をしていきたいと思えます。



(様式) いじめを生まない「行きたくなる学校づくり」の取組

名取市立増田中学校

○ 私たちの取組

「今の学校の状態は・・・？」

○ 取組の紹介

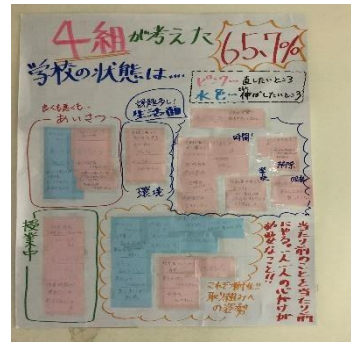
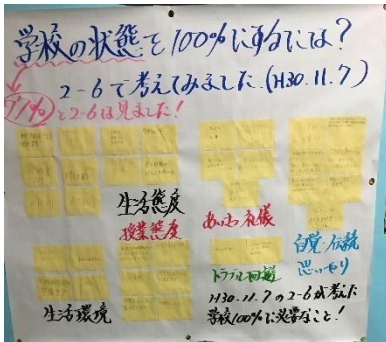
◎取組について

1. 今の学校の状態について各自で何%か考えて、全体で集計をした。
2. その%にした理由を良いこと、改善したいことに分けて考えた。
3. グループで意見を共有し、全体で模造紙にまとめた。
4. まとめた模造紙を各クラスのろうかに掲示した。
5. 後日、同じ授業を行い、改善が見られたか確認した。

◎成果について

- ・各クラスの足りない部分を振り返ることができた。
- ・クラスの状態を良くしようと話し合いに参加していた。
- ・クラスの状態を良くしようと生活を改善していた。

◎取り組みのようす



(様式) いじめを生まない「行きたくなる学校づくり」の取組

名取市立第一中学校

○ 私たちの取組

全校生徒の心に届く「あいさつ運動」

○ 取組の紹介

名取市立第一中学校は全校生徒数が 732 人という、県内でも生徒数の多い学校です。そこで私たちはいじめを生まない「行きたくなる学校づくり」の取組の一つとして、生徒同士が心でつながる挨拶を推進することにしました。「あいさつ運動」は個人ごとで交わす挨拶の他、私たち生徒会執行部が昇降口前に立ち、元気な挨拶を行います。また、私たち生徒会執行部だけではなく、部活動が盛んな第一中学校ならではの取組として、部活動ごとに期間を割り当て、部活動単位で「あいさつ運動」を行うことにしました。普段照れくさくて挨拶ができない人も、部活動の仲間と一緒に昇降口前に立ち、登校してくる一般生徒に向けて大きな挨拶を行います。クラスや学年、部活動という集団の枠を越えて、一中生同士がさわやかな挨拶を交わし合い、互いの絆を深めることでいじめを生まない「行きたくなる学校」を目指して活動しています。



(様式) いじめを生まない「行きたくなる学校づくり」の取組

名取市立第二中学校

- 私たちの取組

朝のあいさつ運動

- 取組の紹介

本校の生徒会総務である生徒9名で、昇降口前にて活動。登校して来る生徒と、元気にあいさつを交えています。

また、ホワイトボードにメッセージやクイズを書くなどして、生徒間の会話を増やし、朝から明るく生活できるよう、毎週月曜を中心にを行っています。



(様式) いじめを生まない「行きたくなる学校づくり」の取組

名取市立みどり台中学校

○ 私たちの取組

あいさつ運動

○ 取組の紹介

私たちの学校では、昇降口の近くで様々な委員会や部活動ごとにあいさつ運動を行っています。そのため、みどり台中学校ではあいさつがたくさん行き交っています。朝、人と交流することでその日の活力が生まれ、気持ちよく一日を始めることができます。



(様式) いじめを生まない「行きたくなる学校づくり」の取組

名取市立みどり台中学校

○ 私たちの取組

意見箱の設置

○ 取組の紹介

生徒会意見箱は、全校生徒が学校で困っていることや、「こうなるといい！こういうことがしたい！」などを誰でも紙に書いて入れられるものです。各階に1つずつ配置し、生徒会の役員が回答し、誰でも見られるように昇降口に掲示しています。意見箱を利用することで「行きたくなる楽しい学校」を目指しています。



いじめを生まない「行きたくなる学校づくり」の取組

多賀城市立多賀城中学校

○ 私たちの取組

「多中っ子宣言」に関する周知と実践

○ 取組の紹介

・生徒会が主体となって、「多中っ子宣言」をまとめた。

- 1 善悪の判断をします
- 2 勇気を出して行動します
- 3 相手の気持ちを考えます
- 4 自分と向き合います
- 5 いつでも積極的に挨拶します



・「多中っ子宣言」を書いた旗を作成し、委員会や部活動ごとにローテーションで行っている朝のあいさつ運動で旗をもちながらあいさつ運動を行い、学校全体への周知を図っている。

(様式) いじめを生まない「行きたくなる学校づくり」の取組

多賀城市立第二中学校

○ 私たちの取組

「ありがとうツリー」の作成、掲示

○ 取組の紹介

- ・ 学校生活で感じた感謝の気持ちを、「ありがとうツリー」に咲かせる
- ・ 季節ごとに用紙を変え、気軽に感謝の気持ちを伝えられるよう工夫
(春：桜、夏：葉、秋：楓、冬：雪)
- ・ 生徒の何気ない活躍が表現される
- ・ 全校生徒に見やすい場所に掲示
- ・ 右図は全体、左図は一部拡大



(様式) いじめを生まない「行きたくなる学校づくり」の取組

多賀城市立高崎中学校

○ 私たちの取組

イトコメガネ

○ 取組の紹介

- ・クラスの誰かの良いところ(イトコ)を、一人一冊持つてるイトコノートに毎日書いていく。
- ・帰りの会において、日替わりで班の代表が自分が選んだイトコをみんなに発表し、班長がイトコ輝きビー玉を入れ物に1つ入れて、みんなで拍手をする。
- ・各自が書いたイトコは担任の先生がノートを集めてまとめてくれる。
- ・先生がまとめたものには、イトコと見つけた数、見つけてもらった数が示されており、それを壁に貼る。
- ・毎週の学級だよりでイトコが紹介される。

- ・だんだん1日で20個、30個も見つける人が出てくる。全員分が1年で5000個を超える。
- ・担任の先生以外にも、見つけて応援してくれる先生が出てくる。



岩沼市立岩沼中学校

○私たちの取組

いじめ防止の旗づくり

○取組の紹介

- ・ 全学年がクラスごとに一枚ずついじめ防止についての旗を制作。各学級のそれぞれの特徴を生かした旗となった。
- ・ 一人一人がいじめについて深く考え、表現することで「いじめ」に向き合うきっかけとなった。



岩沼市立岩沼中学校

○私たちの取組

あいさつ運動

○取組の紹介

- ・ 毎週月～木曜日の朝に実施。
- ・ 生徒会執行部が日替わりで、昇降口で登校してくる生徒に挨拶。
- ・ 自分から挨拶をする生徒が増え、学年を越えた交流も活発になった。



(様式) いじめを生まない「行きたくなる学校づくり」の取組

岩沼市立岩沼北中学校

○ 私たちの取組

いじめ防止スローガンコンクール

○ 取組の紹介

岩沼北中学校では、いじめ根絶を目的にいじめ防止スローガンコンクールを行っています。これは、いじめ防止を呼びかけるスローガンを全校生徒で考え、いじめを防止する意識を高めることを目的にしている活動です。いじめがなぜ起こるのか、どうしたらなくすことができるか、生徒ひとりひとりが見つめる良いきっかけになりました。

今年度の最優秀賞作品は2年生の作品

「さしのべられた手

僕にとっての スーパーヒーロー」

に決まりました。

この作品を校内に掲示し、校内のいじめ防止・根絶の雰囲気を高めていきたいと思います。



生徒会執行部が通いやすい学校作りの一環としてあいさつ運動を行っている場面

(様式) いじめを生まない「行きたくなる学校づくり」の取組

岩沼市立玉浦中学校

○ 私たちの取組

朝のあいさつ運動

○ 取組の紹介

1, 2年生の生徒会役員全員で、校門から昇降口まで並び、7:50~8:15までの25分間、朝のあいさつ運動を実施。

あいさつを交わすことで、あいさつが飛び交い、朝から気持ちよく登校してもらえるように取り組んでいます。



(様式) いじめを生まない「行きたくなる学校づくり」の取組

岩沼市立玉浦中学校

○ 私たちの取組

全フロアに設置した意見箱の活用

○ 取組の紹介

意見箱は、みんなの前では声に出せない生徒も、気軽に書くことができます。

生徒会に足りていないことや、いじめを生まない環境の見直しにつなげています。

また、新たな意見を取り入れ、行きたくなる学校づくりの取組に反映させています。



(様式) いじめを生まない「行きたくなる学校づくり」の取組

岩沼市立玉浦中学校

○ 私たちの取組

全校生徒によるレクリエーションの実施

○ 取組の紹介

まだ企画中ですが、全校生徒と先生方とのつながりを、より強くしていこうというのが、この全校レクのねらいです。

全校生徒みんなが楽しめそうなことを、
現在、生徒会総務で企画しています。



(様式) いじめを生まない「行きたくなる学校づくり」の取組

岩沼市立岩沼西中学校

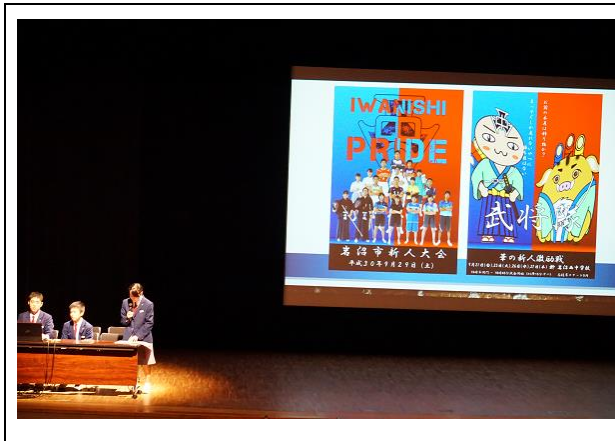
○ 私たちの取組

いじめ撲滅に向けた生徒集会

○ 取組の紹介

生徒会が、岩沼市いじめ防止フォーラムにおいて発表したことを生徒集会で全校生徒に伝えた。

発表の内容は、挨拶運動やいじめ防止CMの内容について、西中独自のマスコットを活用したいじめ防止への取組についてなどで、中でも「岩沼西中学校で一番誇れる伝統は何か」というアンケートを全校生徒対象に実施した、その結果を発表した。結果から体育祭や合唱コンクールなど生徒の笑顔が多く、活躍できる行事が上位に入った。



(様式) いじめを生まない「行きたくなる学校づくり」の取組

岩沼市立岩沼西中学校

○ 私たちの取組

いじめ防止標語募集

○ 取組の紹介

生活安全委員会で、毎年校内いじめ防止標語コンクールを行っている。その優秀作品を、校内の階段に貼り、全校生徒の目に留まるようにしている。



(様式) いじめを生まない「行きたくなる学校づくり」の取組

富谷市立富谷中学校

○ 私たちの取組

- ・いじめ防止のポスターの作成・掲示
- ・実態把握のために、生徒会主体で作成したアンケート実施
- ・県のいじめ防止CMに出品した作品の上映
- ・「良い言葉・悪い言葉」、「アンケート結果」の掲示

○ 取組の紹介

・生徒会主体で作成したアンケートを基に、生徒会総務が考え上記のを行いました。「SMILE LIFE～四海兄弟～」というフレーズに、学校からいじめをなくし、全生徒が笑顔で過ごせる学校にするという気持ちを込めて、各ポスターに入れ、各階に掲示しました。また、製作したいじめ防止CMを生徒集会で流し、アンケートと一緒に集計した「良い言葉・悪い言葉」を掲示することで、全校生徒に相手の立場に立って考える大切さを意識させることができたと感じています。最近新たに取組を始めたものもあり、今後生徒ひとりひとりが、それぞれの問題や改善点を自分たちの問題点として捉え、向上心をもって取り組んでいけるような工夫をすることが課題です。そのためにも、様々な視点から取り組み方や、内容を考え、継続していきたいと思えます。



○ 私たちの取り組み

朝の挨拶運動

○ 取り組みの紹介

この活動は、毎朝その週を担当するクラスから数名の生徒が昇降口で登校してきた生徒と挨拶するというものです。毎朝のスタートを元気な挨拶で迎えることにより、明るい1日を送ることができるのではないかと考え決定しました。また、挨拶が飛び交う明るい雰囲気を作ることでのじめが起きない・起こさない学校につながるというのも取り組みを始めたきっかけです。挨拶とは、何よりも身近な交流の手段だと私たちは考えています。生徒1人1人が積極的に挨拶をし、習慣化することでじめをなくす環境が成立するよう、今後も継続して取り組んでいきたいと思えます。



○ 私たちの取り組み

いじめ防止ポスターの作成・掲示

○ 取り組みの紹介

身近な方法で『いじめ防止』を定着させようと思い、各クラス1枚と生徒会執行部の計14枚のポスターを作成し学校の廊下に掲示しました。生徒全員がポスターを見てもらうために、学年毎にポスターを交換し、興味をもってもらえるように工夫しました。普段何気なく通る廊下でも、1枚1枚に込められた訴えを自然と感じ意識することが、いじめが起きない・起こさない雰囲気作りに適していると思います。いじめ0に向けての取り組みは、生徒全員で向き合うべき課題であると私たちは考えています。その意識を1人1人持ってもらうため、これからも執行部一同で様々な方法を考えていきたいと思っています。



(様式) いじめを生まない「行きたくなる学校づくり」の取組

富谷市立東向陽台中学校

○ 私たちの取組

「プラスの言葉」をテーマとした運動

○ 取組の紹介

本校では、いじめに対して未然に防止すること、いじめが起きても、見て見ぬふりをせず止められる学校を目指しています。その対応策として、以下のようなあいさつや感謝のなど、「プラスの言葉」をテーマとした取り組みを行っています。

① プラスの言葉ポスターの掲示

毎月1つずつ「がんばろう」や「できる」などのポジティブで明るい言葉を意識して使っていこう、という取り組みをしています。これにより、明るく前向きな行動につながると考えています。

② あいさつ運動

朝に、本校の昇降口前であいさつ運動を行っています。あいさつ運動を通して、学校中に明るく元気なあいさつが広がり、生徒どうしの交流が図られます。そして、コミュニケーションを促し、豊かな人間関係のある学校になっていくと考えています。



○ 私たちの取組

学級での「いいとこ探し」

○ 取組の紹介

週に2回「いいとこ探し」を行い、仲間のいいところに目を向け、互いに認め合う雰囲気醸成する。

- ・ ○○さんが、給食準備を進んで手伝ってくれた。
- ・ ○○さんが、係の仕事を黙々とやっていた。
- ・ ○○さんが、社会の時に一生懸命発表していた。
- ・ ○○さんが、△△さんの代わりに提出物の呼びかけをしていた。
- ・ ○○さんが、グループ作りの時に周りの人のことをしっかり見ていた。

○私たちの取組

あいさつ運動の拡大

○取組の紹介

成田中学校は生徒数 500 人を超える規模なので、縦のつながりや横のつながり、また話したことがなくても顔を知っているなど「つながり」を大切にするために、生徒会執行部、生活委員会が中心となり、毎朝の「あいさつ運動」に取り組んでいます。

平成 30 年度の生徒総会で、「あいさつ運動」を活性化するために生徒会執行部から「全校生徒によるあいさつ運動」を議案として提出しましたが、朝の時間の使い方や部活動の朝練習などの理由から棄却されました。しかし、その結果を残念に思い、あいさつ運動の意義を感じている人が、友達同士や部活動の仲間と毎日あいさつ運動にボランティアとして参加してくれるようになりました。今では写真のように、長い列をつくり、大きな声であいさつをし合っています。校長先生や他の先生方も毎朝参加してくれています。このような「あいさつ運動」によって、生徒と生徒の間に温かい気持ちの交流や「つながり」が生まれ、「行きたくなる学校」につながっていくと考えています。これからも、より多くの皆さんに協力してもらい、あいさつの声が飛び交う成田中学校になるよう、活動していきたいと思ひます。



いじめを生まない「行きたくなる学校づくり」の取組

亘理町立亘理中学校

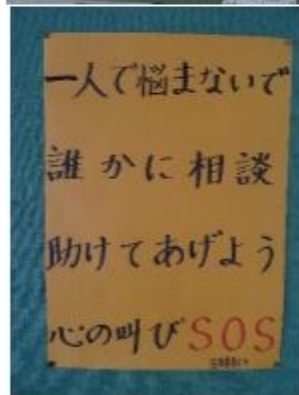
○私たちの取組

- ・ポスターや動画を作成していじめ防止を全校生徒に訴える。

○取組の紹介

私たちは、生徒会の組織である生活委員を中心に全校生徒へ、「いじめ防止」を呼びかけています。

一昨年はNHKの企画の「みんなの行動宣言」に全校生徒で参加し、昨年度は県で募集しているCMコンクールに生活委員が応募し、文化祭で映像を流しました。今年度は校内のポスター掲示がメインの活動になりましたが、来年度はまた全校生徒で取り組めるようなものを生徒会が中心となって考えていきたいと思います。



いじめを生まない「行きたくなる学校づくり」の取組

亘理町立荒浜中学校

○ 私たちの取組

郷土の民謡「えんころ節」をもとに創作した舞踊「荒中えんころ」への取組

○ 取組の紹介

総合的な学習の時間で、12時間の設定がされています。リーダーを中心とした学年縦割りでの活動や全校での活動、成果確認の場としての文化祭での発表が主な活動です。このような、生徒が協力して行う活動や体験の場を通して、「共感する」「助け合う」「認め合う」など、よりよい人間関係の形成を図るために必要な心や態度を育てることも、この活動のねらいの1つになっています。

練習は、全校生徒が数班（1班8人程度）に分かれ、各班リーダーのもと2・3年生が、1年生に「荒中えんころ」を伝承しています。

今年度は、文化祭での発表以外にも、亘理町警察年末年特別警戒出動式、東北・みやぎ復興マラソンでのボランティア演舞、また有志による「みちのくYOSAKOIまつり」への参加など、地域行事へも積極的に参加しました。



○私たちの取組

『がんばったで賞』の授与

よい行動を多く生起させることで、「いじめ」等の好ましくない行動を低減させ「行きたくなる学校づくり」を目指す取組。

○取組の紹介

学年委員会と連携し、

「熱心に清掃をしていた」や

「行事の運営に尽力していた」など、

各学年で頑張っていた人を募集し、

月に1回表彰しています。

朝の会で表彰を行っている様子です
↓



いじめを生まない「行きたくなる学校づくり」の取組

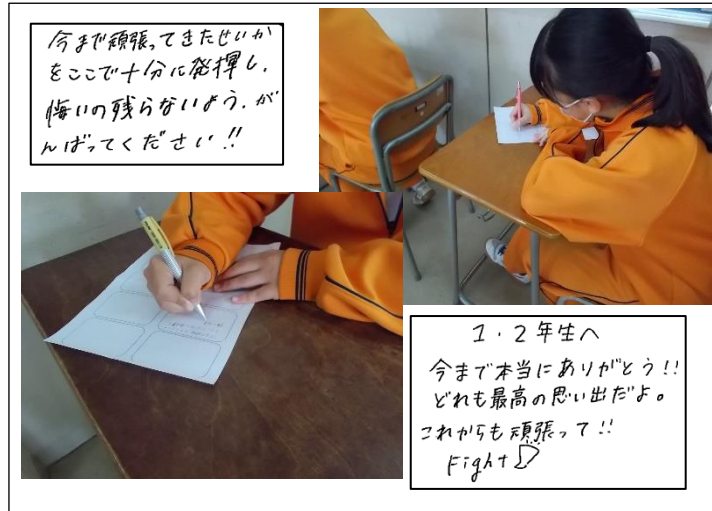
巨理町立逢隈中学校

○ 私たちの取組

「全校生徒へ向けて応援やお礼のメッセージの作成」

○ 取組の紹介

新人戦や中総体のとき、学年を越えて応援し合うことを目的に、一人一人がメッセージカードを記入し、学級ごと模造紙に貼り付けた。そして、その作品を階段や廊下など、全員が見やすい場所に掲示した。



いじめを生まない「行きたくなる学校づくり」の取組

山元町立坂元中学校

・私たちの取組

～ワールドグリーティング～

「ワールドグリーティング」とは、世界の国々の言葉であいさつをしようという取組です。

実際に、中国や韓国などの国のあいさつをしました。

いつものあいさつ運動とは違って、知らない国のあいさつなどに興味をもち意欲的に全校があいさつしていました。

今後は世界の国や日本の方言などを使って、よりあいさつ運動が活発になるようにしていきたいです。



いじめを生まない「行きたくなる学校づくり」の取組

山元町立坂元中学校

・私たちの取組

生徒集会 レクリエーション

・取組の紹介

坂元中学校では、新生徒会の初仕事として生徒集会を行います。その中で学年を越えて交流を深めるため、生徒会が企画したレクリエーションを行っています。

レクリエーションでは「ワードウルフ」というゲームを通して、全校生徒が学年・性別関係なく、仲よく楽しく交流することができました。

今後と学年を越えた取組を活発にし、全校生徒が一致団結していじめをなくしていこうと思います。



○ 私たちの取組

在校生から卒業生へ感謝の気持ちを届ける

○ 取組の紹介

1, 2年生から実行委員会を立ち上げ、これまでお世話になった3年生の先輩方へ感謝のメッセージを届ける。

1, 2年生の生徒一人ひとりから、卒業生へのメッセージを付箋紙に書いてもらい、それを繋ぎ合わせて『感謝』の文字を作成した。合計で1000枚以上のメッセージを繋ぎ合わせるの大変だったが、達成感を得ることができた。

また、学年を超えて協力して取り組むことで、生徒同士の縦の繋がりができ、人間関係の幅を広げていくこともできた。



○ 私たちの取組

学級の成長を感じることでできる掲示物の作成

○ 取組の紹介

月毎に、自分達の行動を学級目標に沿って振り返る活動を行った。そして、学級全体の達成度を、数値で表すことで、自分たちの成長をより、具体的に感じることができるようにした。

継続して取り組んでいくことで、前の月よりも良い学級にしていきたいという気持ちを高めていきたい。

また、学級の仲間を大切に、お互いに協力することができる関係を築いていきたい。



○ 私たちの取組

あいさつ運動

○ 取組の紹介

生徒会と生活委員会の生徒達を中心となって、毎朝、あいさつ運動を行っている。校門近くや昇降口など場所を分けて活動し、多くの生徒にあいさつができるようにしている。

あいさつ運動は、明るいあいさつを交わすことで、一日を気持ちよくスタートすることができると考えている。また、生活委員会では朝の放送であいさつ運動の様子を伝え、学校全体で良いあいさつを心掛けていこうと呼びかけている。

明るいあいさつで、さわやかな雰囲気为学校にしていきたい。



(様式) いじめを生まない「行きたくなる学校づくり」の取組

七ヶ浜町立向洋中学校

○私たちの取組

- ・生徒会行事（向洋祭）

○取組の紹介

- ・生徒が、自分たちで企画・運営を行う行事です。
- ・向洋祭は、文化的ステージ、有志ステージ、全校企画の3つで構成されています。
- ・多くの生徒が、自分たちの得意なことや学習したことを全校生徒の前で発表します。



①他の生徒の活躍や頑張りを知ることができます。

- ・互いの活躍を認め合い、居場所づくりにつながります。
- ・周りの人との会話が増えます。

②学級や部活動で協力することができます。

- ・助け合うことで学級や学年のよい雰囲気作りにつながります。
- ・あまり関わったことのない人とも関わるすることができます。



(様式) いじめを生まない「行きたくなる学校づくり」の取組

七ヶ浜町立向洋中学校

○私たちの取組

- ・縦割り学級で行う体育祭

○取組の紹介

①生徒の居場所づくりとして

- ・昼練習、放課後練習
→仲間と協力して演技を創り上げることで、絆が深まります。
- ・実行委員・応援リーダー
→リーダー育成により、自己肯定感が高まります。

②交友関係の拡大、優しい心の育成として

- ・応援合戦
→縦割りで練習することで先輩後輩の繋がりができます。
- ・全校生徒でダンス（ライジングサン）
→教え合うことで、互いに思いやる言動が身につきます。



(様式) いじめを生まない「行きたくなる学校づくり」の取組

大和町立大和中学校

○ 私たちの取組

いじめ問題に関する生徒会執行部と先生方との意見交換

○ 取組の紹介

いじめ未然防止のためにできることについて「いじめの原因と考えられるのは何か」「その解決策やどんなことを行ったらよいか」について、生徒会執行部と先生方で、意見交換を行った。

コミュニケーション不足が原因になっているのではないか、ネットでの陰口などのいじめが増えている、先生方に相談しやすい関係づくりも大切だ、生徒同士で意見交換ができる意見箱の活用はどうか等という意見が出された。生徒目線と先生方目線で意見交換できた。

今後も定期的にいじめに関して話し合いを設け、提言としてまとめる予定である。



いじめを生まない「行きたくなる学校づくり」の取組

大和町立宮床中学校

○ 私たちの取組

「生徒会企画行事」（全校レクリエーション）

○ 取組の紹介

執行部が主体となって企画，運営を行う全校でのレクリエーションです。全校生徒合同で行い，学年の壁をなくして楽しんでもらおうという企画です。この企画では全校を学年の枠を外した6，7人のグループに分け，グループ対抗で学校やいろいろな雑学についてのクイズに挑戦してもらいます。一般常識問題や，なぞなぞなどにグループで話し合い，協力して答えを出していきます。普段，なかなか話す機会のない，先輩や後輩とも，一つの出題をもとに，「ワイワイ，ガヤガヤ」しながら，楽しめる時間を共有することを目的としています。1位のグループには，健闘をたたえ賞状が渡されます。

○ 取組の成果

この取組をきっかけに，同級生以外の人とも，絆を深め，仲良くなることができたと思います。また，学年間での壁をなくし，学校に一体感を生む空気づくりにつながっていると思います。



いじめを生まない「行きたくなる学校づくり」の取組

大和町立宮床中学校

○ 私たちの取組

「意見箱」の設置と意見の収集と共有

○ 取組の紹介

執行部が管理、運営する全校生徒を対象にした「意見箱」です。昨年までの意見箱が古くなり、壊れたこともあって、今回新しいものに世代交代することになりました。昨年までは先輩たちがつくった「ドラえもん意見箱」でしたが、執行部が現在新しいものを作成中です。どんな意見箱になるかはできてからの楽しみです。新しいものができるまでは「仮意見箱」で意見を集めています。新執行部では、意見箱を新しくするだけでなく、全校生徒の意見にこれまで以上に耳を傾けようと力を入れています。その一つとして、寄せられた意見に対し、執行部からの「返事」をコルクボードに載せ、執行部と全校生徒との距離を縮める取組を進めています。

○ 取組の成果

この取組では、執行部と全校生徒との意見の交流を通して、常に執行部が身近な存在として感じてもらうことにつながっていると思います。皆の意見をもとに、これまで以上に宮床中をよりよい充実した学校にして行くために、思いを共有しながら全校生徒で生徒会活動を進めていくことに良い影響を与えていると思います。



いじめを生まない「行きたくなる学校づくり」の取組

大和町立宮床中学校

○ 私たちの取組

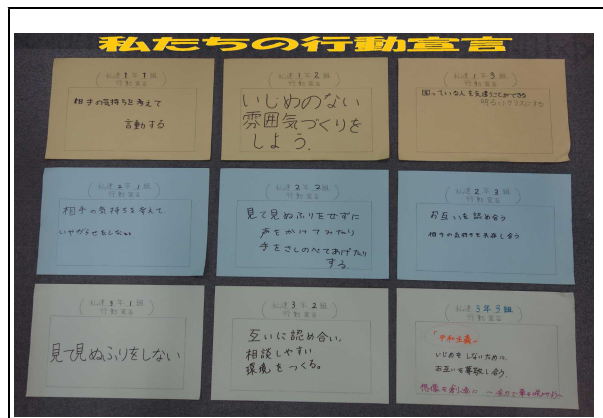
いじめノックアウト（いじめ問題を真正面から考える）

○ 取組の紹介

春に、「いじめノックアウト」をスローガンに、執行部からの提案で、各クラスにどのようなしたら「いじめを生まないことができるか」、「いじめをなくすことができるか」をテーマにした話し合い活動の時間を設けてもらいました。一人一人にいじめについて真剣に考えてもらい、クラスで出た意見を生かして、それぞれが思う楽しい学校づくりをしてきました。各クラスから出された「行動宣言」を掲示して、全校で改めていじめ問題について考える機会をつくりました。

○ 取組の成果

改めていじめ問題に向き合い、私たちが知らず知らずに加害者になっていないかや、「いじめは絶対に許されない行為だ」という強い気持ちを再確認することができたと思います。



いじめを生まない、「行きたくなる学校づくり」の取組

大郷町立大郷中学校

○私たちの取組

『全校レクレーション』

クラスや学年の枠をとりはらい全校でレクレーションをすることで、今まで話したことのない生徒とふれあい、一緒に楽しさを共有することで、「行きたくなる学校」を目指す。

○取組の紹介

- ・ 昼休み、全校生徒が体育館に集合。
 - ・ 執行部で考えたゲームを実施。
(勝負にこだわらず、どの生徒も楽しめるゲームを考えた。)
 - ・ 生徒会が司会・進行する。
- 例) ・ 多数派はどっちゲーム
・ クイズ

レクレーション中は全校生徒から笑顔があふれ、実施後は「楽しかった。」「またやりたい。」などといった感想が多く聞かれた。生徒会執行部の達成感にもつながり、次の企画に向けてのモチベーションも向上した。



○私たちの取組

『みんなでつくる希望の木』

○取組の紹介

全校生徒がペットボトルにそれぞれの夢や希望を書き、それを合体させ、ひとつの大きな木をつくり、全員の思いを共有し、一体感を実感する場をつくる。

- ① ペットボトルを全校生徒から集め、それぞれの夢や願いを書く。生徒会執行部で回収し、つなぎ合わせる作業を行った。
- ② クリスマスの時期には、LEDライトでライトアップをし、昇降口に設置した。下校時刻にはクリスマスのBGMを流し、雰囲気づくりをした。
- ④ 通常時には中庭に設置し、年度ごとに段を増やし、伝統の木にしていく予定。

多くの生徒が木の前で足を止め、いろいろな生徒の願いを読みながら盛り上がっていた。学級、学年に関係なく、同じ木を見ながら笑顔で会話する様子は、行きたくなる学校づくりに少なからず効果があったのではないかと考える。



いじめを生まない、「行きたくなる学校づくり」の取組

大郷町立大郷中学校

○私たちの取組

『いじめ防止標語の掲示』

○取組の紹介

全校生徒が防止標語を考え、優秀な作品を選び階段に掲示し、意識を高めさせる。

- ①生徒会の企画により、いじめ防止標語の記入用紙を作成し、生徒会を通して全校生徒に配布、回収する。
- ②生徒会執行部によって心に響く作品を選び、階段に貼りつける。
- ③生徒会通信や放送によって紹介する。

標語の作成を全員参加にすることで、いじめについて全員が真剣に考える良い機会となった。また、階段に掲示することで、どの生徒も毎日目にすることができ、いじめ防止への意識が少なからず向上する効果があったと考えられる。また、標語が選ばれた生徒は他者から評価される機会ができた。



○ 私たちの取組

衡チューリップ作戦（緑化活動）

○ 取組の紹介

校地内の緑化活動として9月にはサルビアやペコニアの花を植え、11月にはチューリップの球根を植えました。生徒会執行部が全校生徒にボランティアを呼びかけ、花植のやり方を説明しました。たくさんの生徒が集まり、土や植物にふれながら、協力し合い、楽しく緑化活動を行いました。

さらに、作業を終えた花壇を見て、満足そうに眺める人やチューリップが咲くのを心待ちにしながら水やりをしている人もいました。



9月



11月

○ 私たちの取組

生徒会集会（年2回）

○ 取組の紹介

生徒会執行部が中心となり、生徒会集会を行いました。内容は、生徒会や専門委員会、部活動など、様々な機関から企画を募集し、生徒が中心となって行いました。今年度は2回実施し、第1回目は「みやぎ小・中いじめ問題を考えるフォーラム」を伝える会、第2回目は専門委員会と部活動からの活動報告会を行いました。

自分たちが企画・運営を行うのでやりがいや達成感を感じることができました。また、全校生徒が積極的に参加し、意見を交換する場が持ててとても良かったです。



○ 私たちの取組

生徒主体の生徒会活動



○ 取組の紹介

自分たちで考え、明日も学校に来たくなる学校作りを目指しています。

<活動内容>

○ あいさつ運動 毎朝、部活動ごとに実施

○ 体育館・校庭開放 ボールの貸し出し

○ スマイル写真の掲示

○ 生徒の憩いの場の設置

* 受賞記録, 月行事予定, 今日のお誕生日等

○ 学力アップ運動 生徒会主催の朝学習

様々な活動を通して、楽しく休み時間を過ごす人たちが増えました。全学年が一斉に活動を行うことにより学年、学級だけでなく他学年との交流も深まりました。これからも常に笑顔が絶えない大衡中学校を作っていきたいと思えます。

